

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【公開番号】特開2012-162874(P2012-162874A)

【公開日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2012-034

【出願番号】特願2011-22337(P2011-22337)

【国際特許分類】

E 0 5 D 15/10 (2006.01)

【 F I 】

E 0 5 D 15/10

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月18日(2013.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 0 】

前記移動体 5 2 は図 7 に示すように、その第 1 凹部 5 4 a が上案内部材 1 0 の面外方向他側ガイド部 1 2 と合致した面外方向他側寄りの吊車受け位置と、図 1 1 に示す面外方向一側寄りの吊車引寄せ位置とに亘って面外方向に移動する。例えば、本体 5 1 に設けたスプリングピン 5 5 を移動体 5 2 の面外方向に向かう溝 5 5 a に挿入して、振動や小さな力では面外方向に移動しないようにし、本体 5 1 に設けたピン 5 6 を移動体 5 2 の面外方向に向かう溝 5 6 a に挿入して前述の位置に亘って移動自在とすると共に、移動体 5 2 の面外方向一側部、例えば面内方向に突出した突部 5 2 a を本体 5 1 の面外方向一側面 5 1 f に接することで前述の吊車受け位置に位置決めし、移動体 5 2 の面外方向他側部、例えば面内方向に突出した突部 5 2 b を本体 5 1 の面外方向他側面 5 1 g に接することで前述の吊車引寄せ位置に位置決めする(図 9 参照)。

前述した移動体 5 2 が吊車受け位置のときには、図 7、図 9 に示すように、その移動体 5 2 の面外方向一側面 5 2 c が上案内部材 1 0 の面外方向一側ガイド部 1 1 に位置し、スライド障子 5 の吊車 3 0 (吊車ガイドローラ 3 5) を面内方向に移動自在にガイドする。

つまり、中間部材 1 7 の切欠き 1 7 c で面外方向一側ガイド部 1 1 が不連続となるので、移動体 5 2 の面外方向一側面 5 2 c で不連続となった部分を連続し、スライド障子 5 の吊車 3 0 が面外方向一側ガイド部 1 1 に沿ってスムーズに移動するようにしてある。